

社会の変化や今日的課題などに 対応した、様々な学習機会の充実

現状と課題

近年、ライフスタイルの多様化や高齢社会の進展に伴い、それぞれの個性に応じた生涯学習を選択するなど、学習ニーズにおいてもますます多様化が進んでいます。

市民が自ら課題に取り組むための学習機会の提供は、まちづくりのうえでも必要なものとして求められています。

また、これからの地域社会における高齢者の役割は大きく、住み良い地域をつくるために必要な存在として、様々な社会参画や社会貢献が期待され、学習活動の成果を生かす取組を進める必要があります。

このほか、転出入の多い千歳市では地域に馴染むまでに時間がかかり、核家族化の進展など地域コミュニティの希薄化が指摘される中、子どもの模範となるべき親の意識を高めることが重要であり、家庭の教育力の向上を図っていく必要があります。

取組概要

市民が抱える身近な生活課題から地球規模の大きな問題まで、様々な学習機会の提供に努めます。

推進方向 2 における取組方策と主要事業の体系

推進方向 2

社会の変化や今日的課題などに対応した、様々な学習機会の充実

【取組方策 2 - 1】市民ニーズに応じた学習機会の充実

< 主要事業 > 「市民教養セミナー」

【取組方策 2 - 2】高齢者の学習機会の充実

< 主要事業 > 「千歳高星大学」

< 主要事業 > 「若返り学園」

< 主要事業 > 「千歳高星大学大学院」

【取組方策 2 - 3】家庭教育に関する学習機会の充実

< 主要事業 > 「ママさん教室」

< 主要事業 > 「家庭教育セミナー」

< 主要事業 > 「男性の子育て講座」

...後期計画追加事業

【取組方策 2 - 1】

市民ニーズに応じた学習機会の充実

社会の急激な変化に伴う今日的な課題などに対応した学習機会を提供します。

また、学んだ成果を実生活の中で生かせるように、生活に密着した実践的な学習内容となるよう努め、市民が抱える諸問題に、自らが取り組む意識を持つことができるような学習内容の充実に努めます。

(主要事業):「市民教養セミナー」

地域課題から国際問題まで、社会的課題や市民ニーズに応じた学習機会を提供するため「市民教養セミナー」を実施します。

成果指標	計画策定時 (平成 21 年度)	中間年目標値 (平成 27 年度)	最終年目標値 (平成 32 年度)	後期計画目標値 (平成 32 年度)
事業アンケート結果で、今後役に立つと答えた人の割合	94%	95%	96%	96%

< 前期計画期間の取組 >

市民が安心した日常生活を送るために、解決しなければならない社会的課題などに対し、自主的に取り組めるよう、学識経験者や実践活動者などを講師に、国際理解や健康、生活、環境など、様々な分野の講義や体験学習を実施しました。

	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
事業アンケート結果で、今後役に立つと答えた人の割合	97%	98%	98%	99%

< 後期計画における事業概要 >

引き続き、社会的課題や市民ニーズに応じた学習機会の提供に努めるとともに、学習内容の充実に努めます。



【取組方策 2 - 2】

高齢者の学習機会の充実

高齢者が、住みよい地域づくりを進めるうえで、何をすべきか、何ができるかを、高齢者同士で考えるための組織的な学習機会の充実に努めます。

また、高齢者に対して、地域が抱える課題や自身の健康、生きがいづくりなどを、様々な交流を通じ、切磋琢磨しながら学ぶ機会の充実に努め、そこから得た学びを地域などで生かす実践的な活動機会の充実に努めます。

(主要事業):「千歳高星大学」

高齢者の地域参加意識を向上させるための学習内容を充実します。

成果指標	計画策定時 (平成 21 年度)	中間年目標値 (平成 27 年度)	最終年目標値 (平成 32 年度)	後期計画目標値 (平成 32 年度)
事業アンケート結果で、地域参加意識の向上につながると応えた人の割合	95%	96%	97%	97%

< 前期計画期間の取組 >

高齢者が豊かで生きがいのある人生を創造し、地域社会に貢献することができるよう、講義、実習、体験発表、自主的な活動などの組織的な学習機会を提供しました。

	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
事業アンケート結果で、地域参加意識の向上につながると応えた人の割合	96%	92%	97%	97%

< 後期計画における事業概要 >

学生の意欲を高め、かつ、地域社会への貢献につながるような学習プログラムを計画し、高齢者が豊かで生きがいのある人生を創造し、地域社会に貢献することができるよう、組織的な学習機会の提供に努めます。



(主要事業):「若返り学園」

高齢者の仲間づくりや趣味・教養を高めるための活動・学習機会を提供します。

< 前期計画期間の取組 >

【内 容】 高齢者が明るく健やかで、生きがいのある生活を送るために必要な社会的スキルを養うため、講義、実習、サークル活動などの学習機会を提供しました。

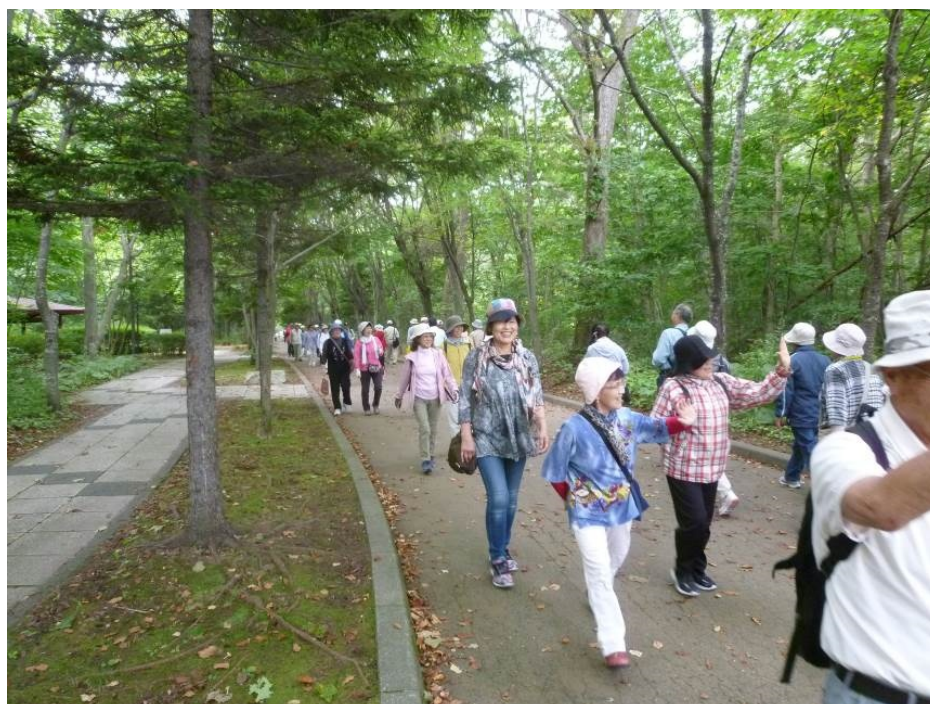
【対 象】 60 歳以上の市民

【会 場】 市民文化センターなど

【学習時間】 5月から3月まで
・学園行事 年15回程度
・各サークル活動 月1回

< 後期計画における事業概要 >

学園行事や各サークル、学級ごとの活動を通して、会員の生きがいづくりや仲間づくりが図られており、引き続き、高齢者が明るく健やかに豊かで生きがいのある生活を送るため、生涯にわたって必要な社会的スキル等を学ぶ機会の提供に努めます。



(主要事業): <追加事業> 「千歳高星大学大学院」

高星大学で学んだことを基礎に、生きがいのある充実した人生を創造するための学習機会を提供します。

成果指標	計画策定時 (平成 21 年度)	中間年目標値 (平成 27 年度)	最終年目標値 (平成 32 年度)	後期計画目標値 (平成 32 年度)
事業アンケート結果で、地域参加意識の向上につながると応えた人の割合	-	-	-	97%

<前期計画期間の取組>

【内 容】 高星大学で学んだことを基礎に、主体的により深く学ぶことを通して、郷土千歳への理解を深めるとともに、生きがいのある充実した人生を創造するための学習機会を提供しました。

【対 象】 千歳高星大学を卒業した市民

【会 場】 市民文化センターなど

【学習時間】 4月1日から12月31日まで(修業年限2年)
月2回程度
年間40時間以内(1日概ね3時間以内)

<後期計画における事業概要>

高星大学で学んだことを基礎としながら、生きがいのある充実した人生の創造につながるような学習機会の提供に努めます。



【取組方策 2 - 3】

家庭教育に関する学習機会の充実

子どもが成長する過程で、最も近くにいる親などに対し、子育ての責任や役割、自覚などに関する実践的な学習機会の提供に努めます。また、子育て中の親に限らず幅広い世代に対して、家庭教育に関する意識を高める学習機会を提供します。

このほか、PTAや関係団体などと連携し、家庭教育に関する学習活動の支援と促進に取り組むとともに、家庭教育に関する男性の意識の向上に努めます。

(主要事業):「ママさん教室」

子どもの成長に応じた親の学習機会を充実するため、「ママさん教室」を実施します。

成果指標	計画策定時 (平成 21 年度)	中間年目標値 (平成 27 年度)	最終年目標値 (平成 32 年度)	成果指標	後期計画目標値 (平成 32 年度)
ママさん教室 の実施回数	20 講座	22 講座	22 講座	ママさん教室 の参加割合	95%

< 前期計画期間の取組 >

母親として望ましい育児知識の習得と母親同士の情報交換の場として「ママさん教室」を実施しました。

	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
ママさん教室実施回数 (参加割合)	20 講座 (92%)	20 講座 (97%)	20 講座 (100%)	20 講座 (100%)

< 後期計画における事業概要 >

事業の成果は、単に回数を重ねることではなく、どれだけの市民が興味を持ち参加をしたかということが重要です。このことから、成果指標を参加割合に改め、目標数値を 95% に設定し、より多くの方の参加が得られるよう内容の充実に努めます。



(主要事業):「家庭教育セミナー」

親に限らず、子育てを終えた方や高齢者など、地域住民も含めて家庭教育に関する学習機会を提供するため、「家庭教育セミナー」を実施します。

成果指標	計画策定時 (平成 21 年度)	中間年目標値 (平成 27 年度)	最終年目標値 (平成 32 年度)	成果指標	後期計画目標値 (平成 32 年度)
家庭教育セミナーの実施回数	1 講座	2 講座	2 講座	事業アンケート結果で、今後役に立つと答えた人の割合	95%

< 前期計画期間の取組 >

子育て中の親に限らず、幅広く市民に対して家庭教育への関心を高めてもらうための講座を実施し、家庭教育に対する意識向上や参画促進に努めました。

	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
家庭教育セミナー実施回数 (今後役に立つと答えた人の割合)	1 講座 (99%)	1 講座 (100%)	1 講座 (99%)	2 講座 (100%)

< 後期計画における事業概要 >

家庭の教育力の向上を図るため、セミナーへの参加を通して学んだことを活用していただくことが大切です。

このことから、成果指標を、「事業アンケート結果で、今後役に立つと答えた人の割合」に改め、目標数値を 95% に設定し、家庭教育に対する意識の向上や参画を図るため、実践的なセミナーの実施に努めます。



(主要事業):「男性の子育て講座」

家庭教育に関する男性の意識向上に努めます。

成果指標	計画策定時 (平成 21 年度)	中間年目標値 (平成 27 年度)	最終年目標値 (平成 32 年度)	成果指標	後期計画目標値 (平成 32 年度)
男性の子育て講座の実施回数	3 講座	4 講座	4 講座	男性の子育て講座の参加割合	95%

< 前期計画期間の取組 >

父親が子育てに関わる講話を聴くことで、家庭教育への意識を高めることにつながるとともに、「ものづくり」などの共同体験を通じて、子どもとのコミュニケーションを深め、父親の家庭教育への参画促進に努めました。

	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
男性の子育て講座の実施回数 (参加割合)	2 講座 (83%)	2 講座 (100%)	2 講座 (90%)	2 講座 (90%)

< 後期計画における事業概要 >

事業の成果は、単に回数を重ねることではなく、どれだけの市民が興味を持ち参加をしたかということが重要です。

このことから、成果指標を参加割合に改め、目標数値を 95% に設定し、父親の家庭教育への参画促進を図ります。

